

2026年度 産総研イノベーションスクール

博士研究人材向け「イノベーション人材育成コース」

公募説明会

説明中は**ミュート**にしてください。

ご質問のある方は説明終了後に**手を挙げる**か、**チャットに記載**してください

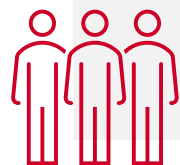
国立研究開発法人 産業技術総合研究所

イノベーションスクール事務局 [school-saiyou-ml@aist.go.jp]

MISSION

社会課題の解決と
我が国の産業競争力強化

■人員



12,000 名 が研究開発活動を実施

研究職

2,200 名

事務職

700 名

契約職員（ポスドク、テクニカルスタッフ等）

3,200 名

AIST Solutions社員

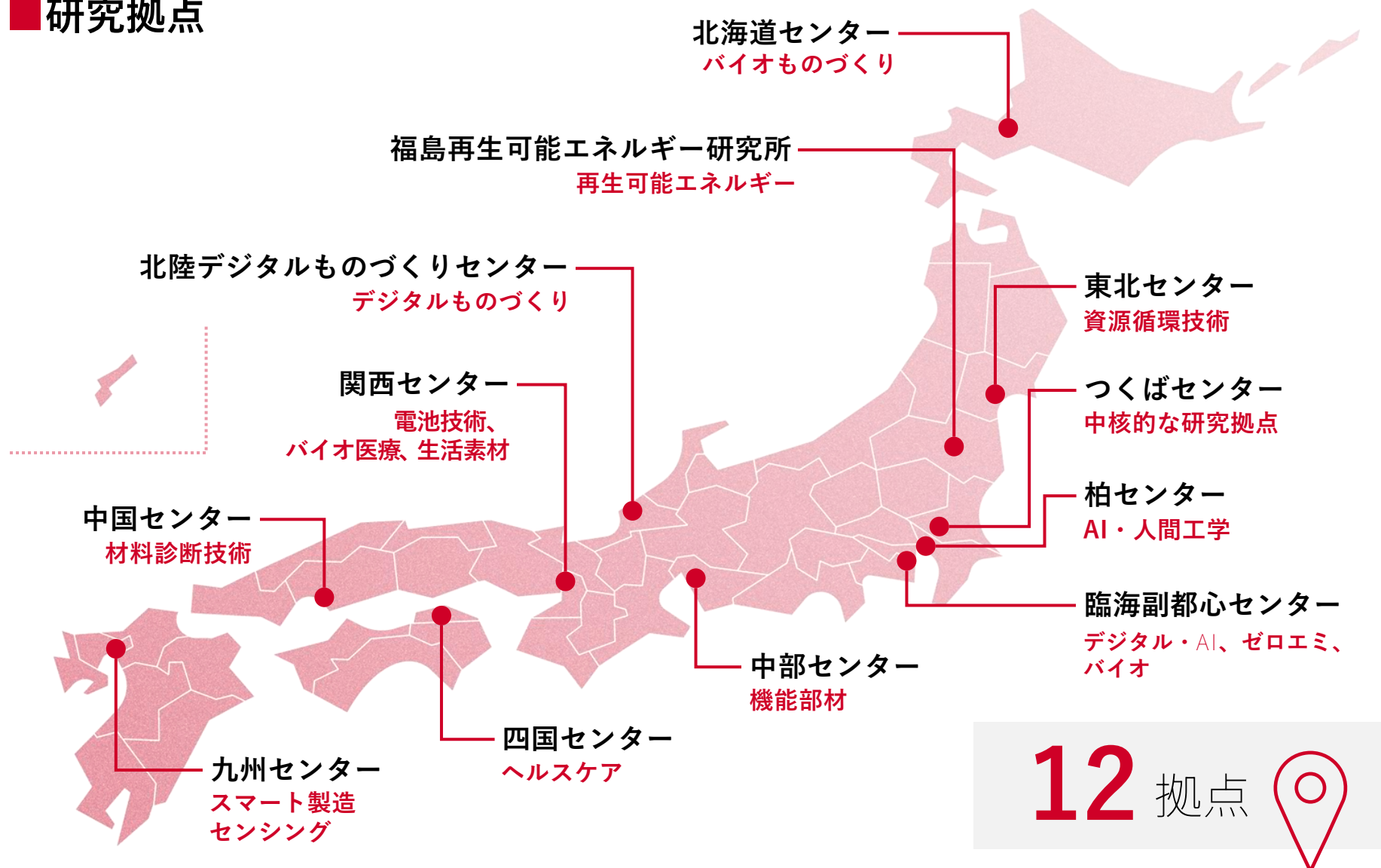
200 名

その他（産学官・国際制度来所者等）

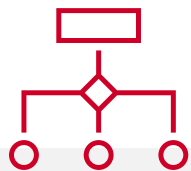
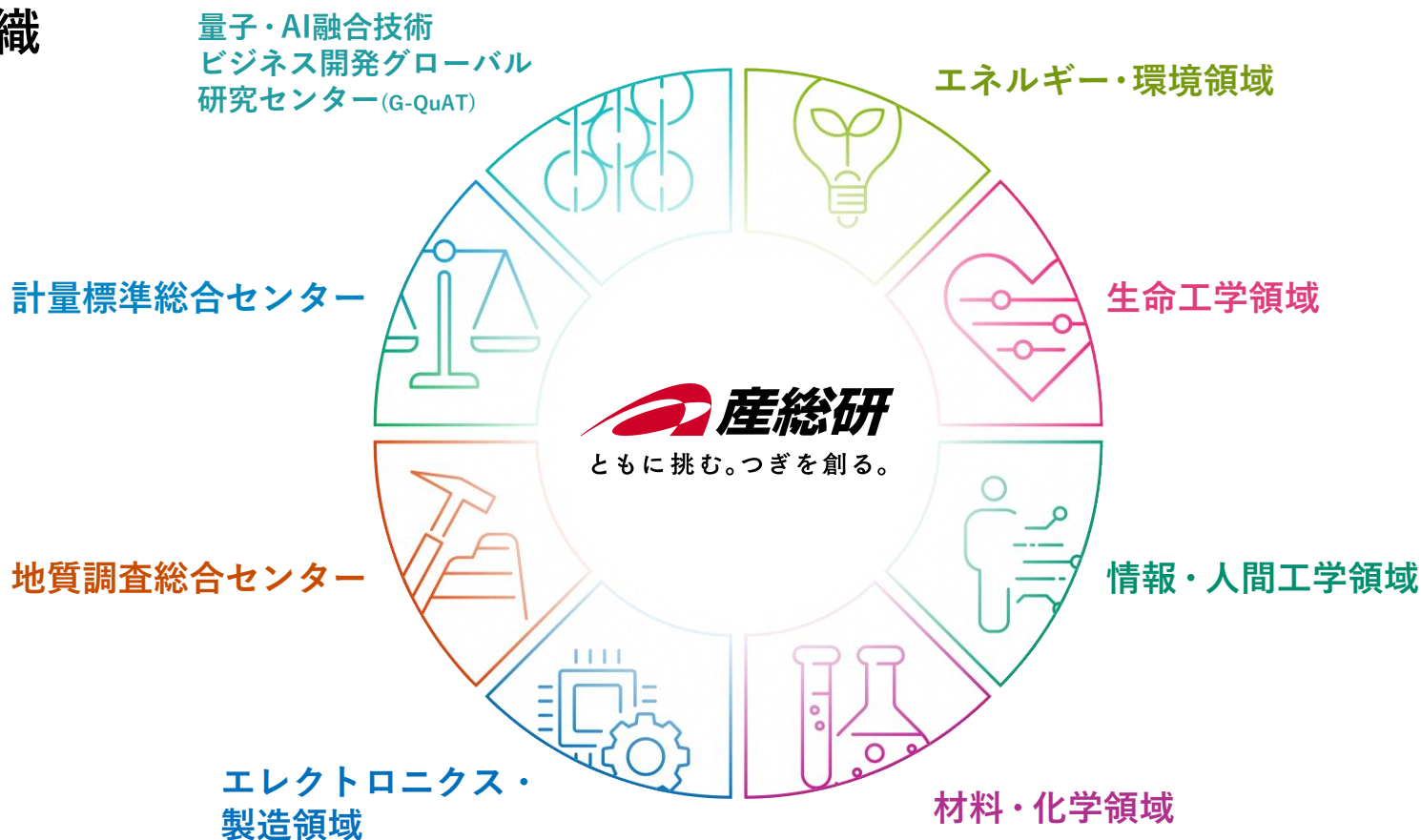
5,800 名

※2024年3月末時点。ただし、企業・大学からの来所者等については2023年度の実績
※人員数は百人未満を四捨五入のため、合計が一致しないことがある

■研究拠点



■ 研究組織



7 領域 + G-QuAT にまたがる「**広範な研究体制**」



エネルギー・
環境・資源制約
への対応



人口減少・高齢化
社会への対応



レジリエントな
社会の実現

- 産総研の若手研究人材育成制度（産業技術人材の育成：産総研第5号業務）
- 2008年より実施し、**現在19期目**
- **博士号を持つ若手研究者**や大学院生を対象として、社会の様々な課題に挑戦し、イノベーションを起こす能力を持つ研究人材を育成するコースを開講



専門領域での
高度な科学的・
技術的知見

産総研イノベーションスクール
【育成のポイント】



分野を超えた視野の拡大、産業界・社会の理解促進

異分野間でのコミュニケーション能力・連携力向上

企業での研究開発の実践（長期企業研修：ポスドクのみ）

異なる分野の研究者とのネットワーク形成

研究人材として社会で必要とされる汎用的な能力を育成

企業をはじめ、広く社会の重要な場で**即戦力として活躍できる研究人材**へ

年間スケジュール

8-12月

1月 2月 3月

4月

5月

6月

7月

8月

9月

10月

11月

12月

1月

2月

3月

募集

決定
審査

入校

講義・演習、研究、企業研修（2ヶ月程度）

成果発表会

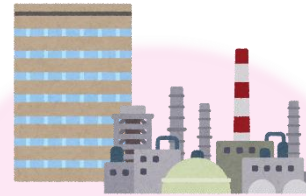
成長報告会

修了式
理事長最終講義



講義・演習

視野の拡大を図る
多彩なカリキュラム



企業での研修

企業現場での
研究開発の実践



広く社会で活躍

民間企業、公的研究機関、大学等

**AIST
Innovation
School**
イノベーションスクール

産総研特別研究員
として雇用

1年間のカリキュラム



**産総研での
研究**

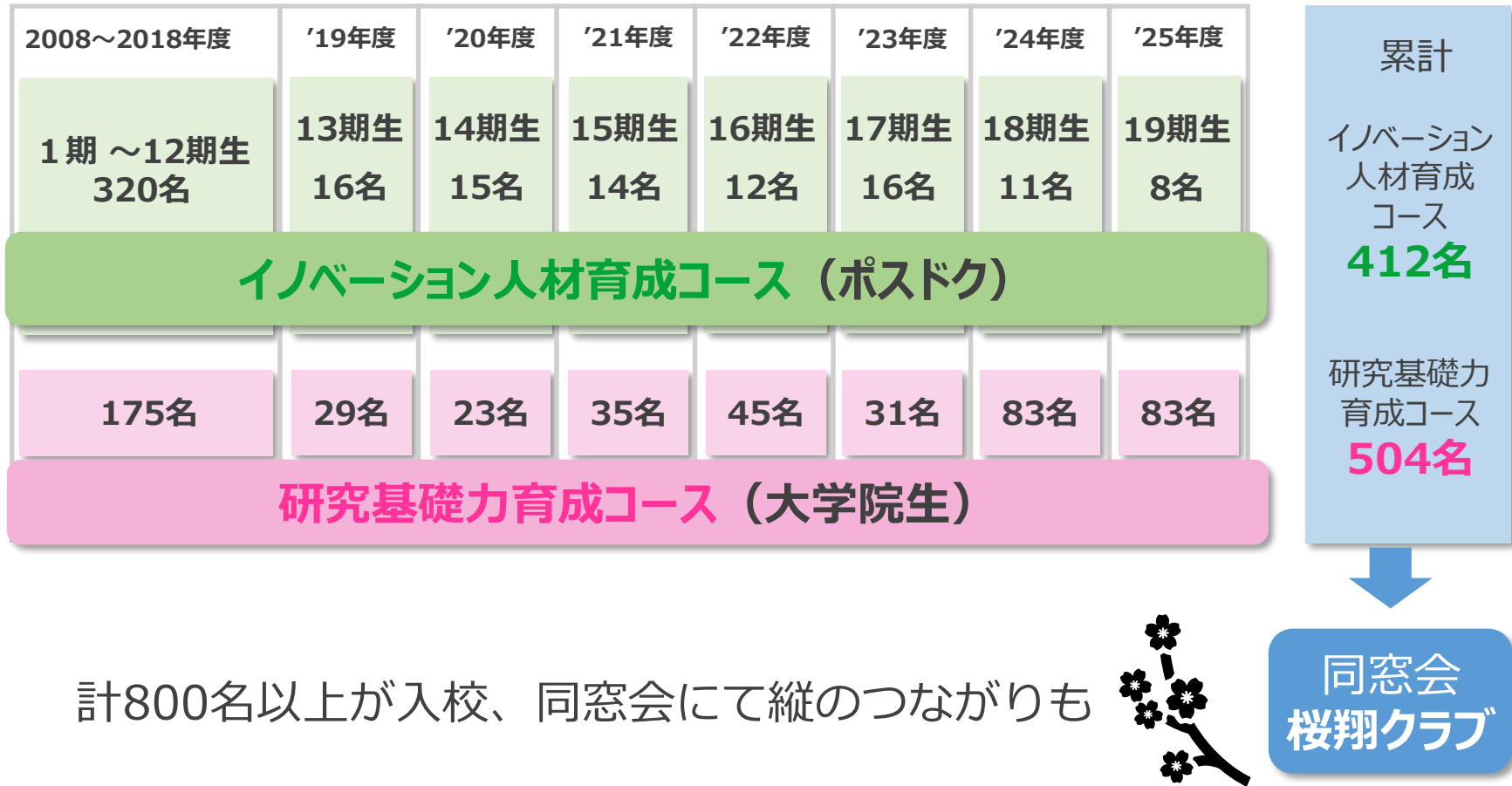
研究現場で
最先端の研究を実践

先輩・同期との
交流イベント

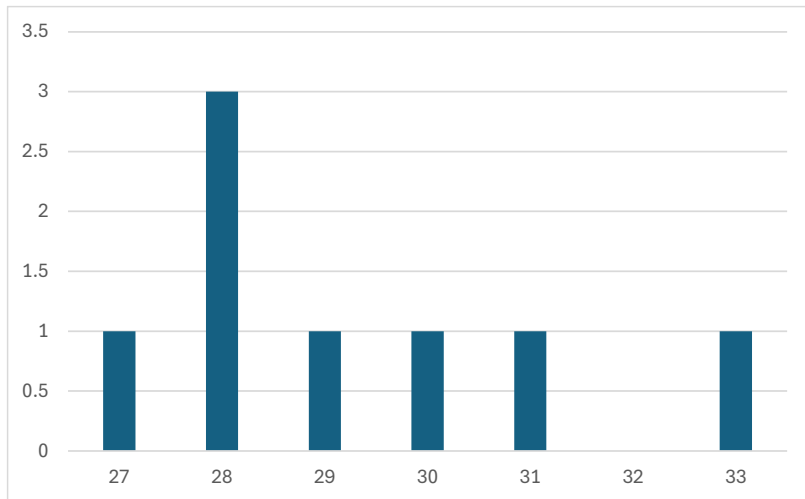


人的ネットワーク形成

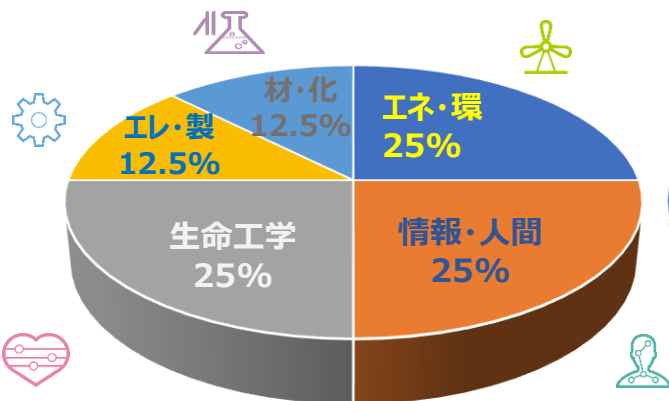
イノベーションスクール採用実績



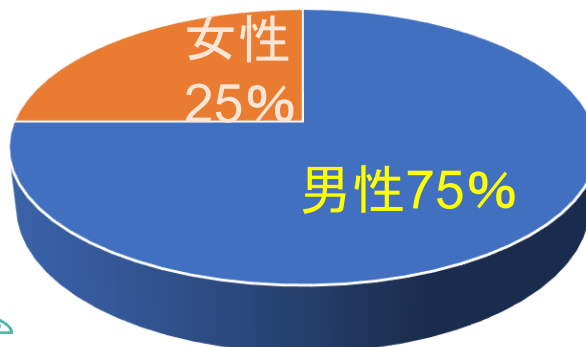
年齢（平均29.3歳）



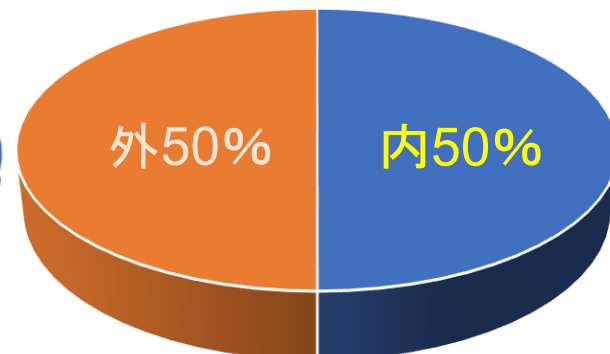
研究領域



性別

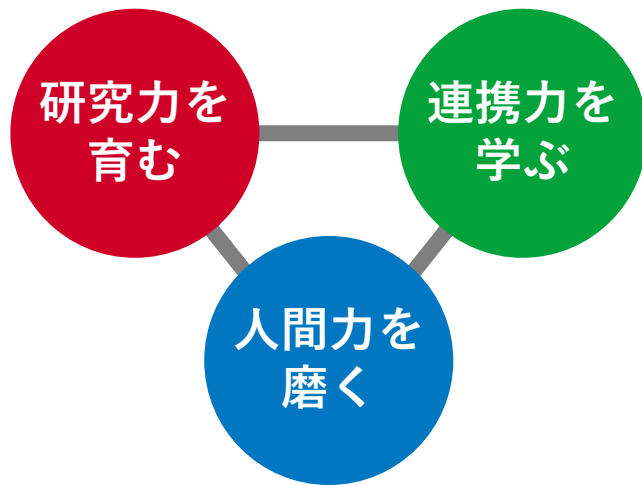


産総研内外



- ・対面形式で実施（つくばセンター中央事業所）
- ・「研究力」、「連携力」、「人間力」の3つの力を醸成する講義演習

3つの力を学び育てる

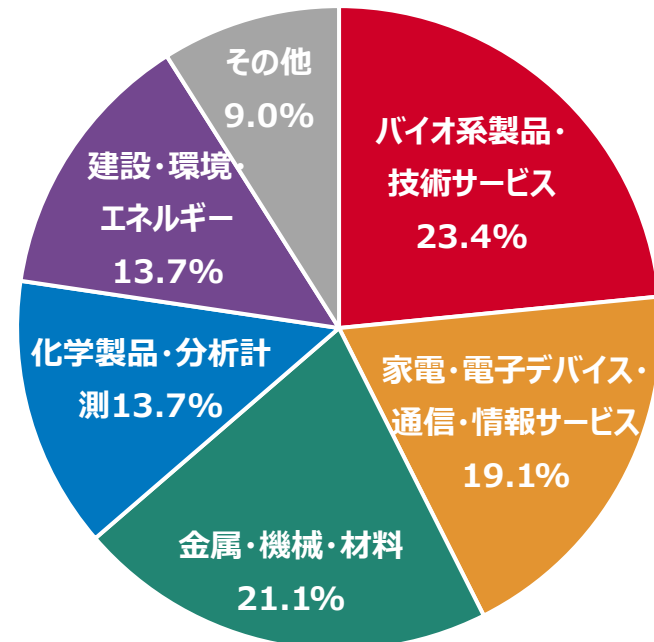
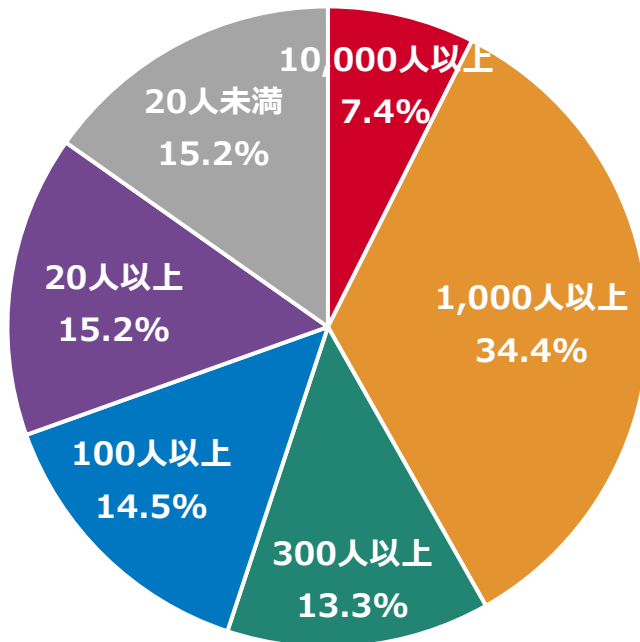


2025年度の例 **31種の講義演習**

ガイダンス・開講式	ガイダンス・開講式	
交流	自己紹介	
交流	講義・演習振り返り	
交流	スクール生交流イベント	
交流	先輩との交流会	
キャリア開発	博士人材のキャリアデザイン	深澤知憲
キャリア開発	Innovative Leadership研修	大場光太郎
キャリア開発	キャリア形成を考える	寺島敦雄
キャリア開発	求められる博士人材	矢部彰男
キャリア開発	博士人材のキャリアパス	宮下哲
キャリア開発	企業・業界を知るために	田島正明
キャリア開発	研究者のキャリアパス	西村知也
キャリア開発	博士人材のキャリアパス	関 浩二
コミュニケーション	マナー・コミュニケーション研修	米倉影子
産総研紹介	開校挨拶・産総研紹介	加藤一実
産総研紹介	産総研の情報を得るには	健康管理室、事務局
産総研紹介	産総研の研究紹介:音楽情報処理が切り拓く音楽体験の未来	後藤 真考
研究	研究者倫理	白田孝
研究	標準化について考えよう	齋藤剛
研究	DX研修	阪野 貴彦
研究	研究者にとっての知的財産	中村努IPO
研究	プレゼン塾基礎編	今村健
研究	プレゼン塾応用編	今村健
研究	法・社会から見たイノベーション	秋山肇
研究	研究発表のためのビジュアルデザイン	田中 佐代子
研究	研究からベンチャー企業へ	河尻耕太郎
研究	ビジネスプロデュース論	岩本 隆
研究	スタートアップ起業	中村 則雄
プロジェクト立案	社会実装を目指した研究プロジェクトの作り方	黒川 信男
プロジェクト立案	イノベティブなプロジェクトの作り方	田原、安藤、吉沢
プロジェクト立案	社会課題解決と研究テーマの共通価値	佐藤大樹

- ・ 2ヶ月程度、企業に出張
研修を通じて企業マインドを理解し広い視野を得るため、2ヶ月以上の研修期間
- ・ 企業での課題の設定方法、基礎から製品化研究の実態、研究業務マネジメントなどについて現場で体験し、学習

研修先企業内訳（256社）



2024年度企業研修実施例

番号	所属領域	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	(勤務地)
1	生命工学		←	→			バイオ (農業スタートアップ)				茨城
2	量子		電気通信		↔		● (大学へ転出)				神奈川
3	生命工学	化学 (製造)		←	→						兵庫
4	材料・化学	医薬 (製造)		←	→						茨城
5	情報・人間工学	ヘルスケア (機械)		←	→						愛知
6	生命工学					情報サービス		↔			東京
7	材料・化学		機械 (製造)		←	→					愛知
8	計量標準	機械 (計測器)		←	→						神奈川
9	情報・人間工学	↔			WEBサービス (ソフトウェア)						東京
10	生命工学			建設		←	→				神奈川
11	生命工学				バイオ (医薬)		↔				大阪

赤字は新規受け入れ企業分類

外部成果発表会 SATテクノロジー・ショーケース



**SAT
テクノロジー・ショーケース
2025**

異分野交流による知の触発
in つくば
最新研究・技術のフリーマーケット

— 特別シンポジウム —
**インフラ×○○?!
最先端技術が創るよりよい未来**

さまざまな分野の専門家が集い、新しい連携の可能性、インフラのさらなる進化、
ひいてはより良い世の中の実現に向けて議論します。

企画：国立研究開発法人土研研究所

ポスター発表 9:15～18:00
つくばと関連地域での研究成果を俯瞰できる150件(予定)のポスター発表

■ **インデクシング** (1分間のポスター概要説明)
9:20～12:30

■ **ポスター発表コアタイム**
13:00～15:50

「テクノロジーショーケース」はつくばをはじめ首都圏などで活躍する研究者・技術者が、最新の研究成果、アイデア、技術を持ち寄り、相互に接遇する異分野交流の場です。
ご来場される参加者は、発表者と直接議論することができ、異分野の研究者、技術者との交流が図れます。

**2025年
1月23日(木)**
つくば国際会議場
入場無料 どなたでも自由に
参加できます

特別シンポジウム 16:00～18:00
インフラ×○○?! 最先端技術が創るよりよい未来

第1部 特別講演
[インフラ×地質] 地質図は社会の基礎となるベース・レジストリ
産業技術総合研究所 地質調査総合センター 連携推進室 連携オフィサー 斎藤 眞
[インフラ×生物多様性] ネイチャーポジティブの実現を支える観測と評価
国立環境研究所 生物多様性領域 室長 角谷 拓
[インフラ×材料科学] インフラの中のナノ世界を覗く
物質・材料研究機構 若手国際研究センター センター長 兼 構造材料研究センター-NIMS特別研究員 土谷 浩一
[インフラ×宇宙] ALOSシリーズによるインフラ変位監視
宇宙航空研究開発機構 第一宇宙技術部門衛星利用運用センター 技術室室長 川北 史朗

第2部 パネル討論
モデレーター：土研研究所 理事 久保 和幸
パネラー：(順次登壇) 土研研究所 理事 斎藤 眞、角谷 拓、土谷 浩一、川北 史朗、藤田 光一

主催：つくばサイエンス・アカデミー（一般財団法人茨城県科学技術振興財団）、SATテクノロジー・ショーケース2025実行委員会
協力機関：国立研究開発法人土研研究所 共催：茨城県、茨城県教育委員会、つくば市、つくば市内国立研究開発法人等24団体
後援：文部科学省、経済産業省、環境省等26団体



つくばサイエンス・アカデミー事務局

つくば市竹園 2-20-3 つくば国際会議場内
☎029-861-1206



概要 つくばサイエンス・アカデミー（江崎玲於奈会長）が主催する**異分野交流会**

参加者

イノベーション人材育成コース生（PD）
研究基礎力育成コース生（大学院生）

目的

プレゼンテーション能力と
異分野コミュニケーションの能力の向上

形式

つくば国際会議場での対面形式

最近のプレゼンテーション賞受賞者数

18期 (2025) 4名	17期 (2023) 5名
16期 (2022) 2名	14期 (2021) 7名
13期 (2020) 6名	12期 (2019) 5名
11期 (2018) 3名	

※15期は開催形式の直前変更により、プレゼンテーション賞は取り止め

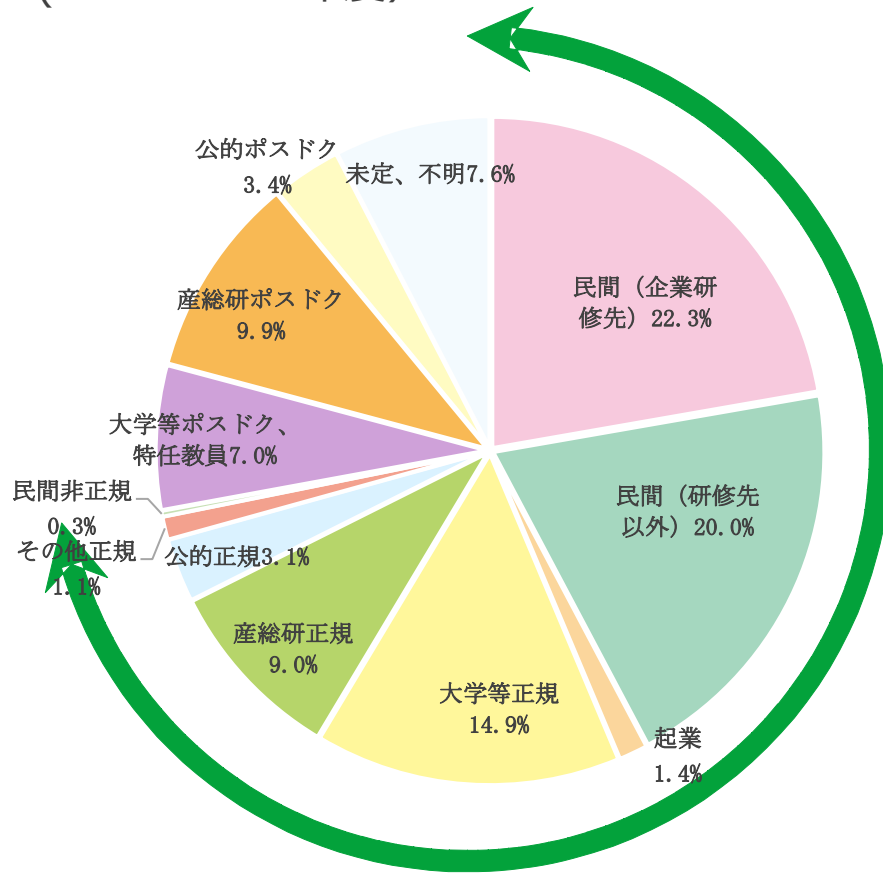
外部成果発表会 SATテクノロジー・ショーケース



2024年度18期生
参加人数計 79名
D C 生70名
P D 生9名



1期～16期 ポスドク355名 (2008～2022年度)



高い正規就業率

正規就業率：約**71.8%**

民間企業への就職率：約**43.7%**

大学・
公的研究機関への就職率：約**27%**

参考：文科省NISTEP調査（2024年3月）

2021年度在籍したポスドク（13657人）

2022年4月の所属先

大学以外の研究・開発職：3.7%、大学：9.8%

研究補助・技能者など：2.3%、その他：15.9%

ポスドク67.9%

 産総研
ともに挑む。つぎを創る。

- 博士の学位を有すること、ただし雇用開始日までに取得見込みであれば応募可
- 雇用開始日において博士号取得後7年以内であること、産総研特別研究員としての雇用歴が4年未満であること
- 産総研受入責任者と研究テーマについて合意していること¹
- 原則として全ての講義・演習および行事に参加できること
- 民間企業等におけるイノベーション創出に意欲があること
- 日本語が話せること（外国人の方の場合は、日本語検定N2程度以上）

20名程度

雇用条件

- 身分：産総研特別研究員（第1号契約職員）
- 給与：時給制2,500円
- 雇用期間：1年間（2026年4月1日～2027年3月31日）
- 勤務時間：週5日勤務
- 休日等：完全週休2日制（土・日）、祝日、夏季休暇、年末年始
- 待遇：当所規程により有給休暇制度、通勤手当制度有り、社会保険完備
- 勤務場所：産総研受入責任者が所属する産総研の研究拠点

カリキュラム	2026年4月20日～24日	開講式 第1回講義・演習
	5月18日～22日	第2回講義・演習
	6月22日～26日	第3回講義・演習
	2027年1月上旬	外部研究成果発表会 (SATテクノロジーショーケース)
	2027年2月上旬	成長報告会
	2027年3月上旬	・ 理事長最終講義 ・ 修了式
	2026/4-2027/2の間の2か月程度	企業研修
	2026/4-2027/3	産総研での研究活動

エントリーサイトからご応募ください：

https://unit.aist.go.jp/innhr/inn-s/DC_course/entry.html

エントリーサイト



エントリー〆切：11月25日（火）14:00 厳守
*** 産総研受入責任者が決まっていない方は、11月17日までにエントリーをお願いします。**

募集

現在、2026年度イノベーション人材育成コースのスクール生を募集中です。応募される方は以下のエントリーフォームから登録をお願い致します。応募期限は2025年11月15日(火)14:00までと応募書類のフォーマットご案内と提出方法に連絡いたします。

エントリーフォーム

ここから

※エントリーフォームに登録する前に募集要項とご応募にあたってを必ずお読みください。

公募説明会

オンライン公募説明会をTeams会議にて開催いたします。下のリンクボタンからアクセスしてご参加下さい。
事前登録は不要です。

1回目 9月3日(水) 11～12時

1回目参加

2回目 10月8日(水) 11～12時

2回目参加

受入研究者が決まっていない方は、次のサイトもご利用ください。

産総研：研究成果記事一覧 のサイトで、研究内容、研究者を調べられます。

https://www.aist.go.jp/aist_j/list/l_research_research.html

研究成果記事一覧



産総研受入責任者が決まっていない場合は事務局が産総研研究者とのマッチング支援、もしくは受入責任者となることも可能です。

* マッチングは必ずしも成立しない場合がありますので、ご了承ください。

応募・審査の流れ

①エントリー
(Formsから応募)

11/25 (火) 14時〆切

②1次書類提出

エントリー後2週間以内

③2次書類提出

12/1(月) 14時〆切

面接審査

12月中旬実施

合否通知

12月下旬

採用手続き

< 1次書類審査に必要な書類 >

- ① 履歴書
- ② 特定類型該当性に関する申告書
- ③ 自己アピール票
- ④ 業績リスト

< 2次書類審査に必要な書類 >

- ⑤ 誓約書
- ⑥ 肖像、個人情報及び著作物使用同意書
- ⑦ 産総研受入責任者の承諾書
- ⑧ 博士号取得を証明する書類（学位記の写し等）もしくは取得予定証明書の写し

< 面接審査に必要な書類 >

- ⑨ 面接審査プレゼン資料

未来を創る研究者になろう



研究者

未来を創る、

になろう

2026年度 産総研イノベーションスクール イノベーション人材育成コース

博士研究員大募集

今すぐ
アクセス!

応募サイト



2026年度 産総研イノベーションスクール
博士研究人材向け「イノベーション人材育成コース」
公募説明会ご参加頂きありがとうございました

ご質問がございましたら
手を挙げる、もしくはチャット
にご記入ください

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
イノベーションスクール事務局 [school-saiyou-ml@aist.go.jp]